



熱海健康福祉センターだより

第8号 / 2006.1.4

- 安全で快適な観光都市をつくろう -

HPで熱海・伊東の保健・医療・福祉情報！

熱海健康福祉センター（熱海保健所）のホームページが内容豊かにリニューアルしました。今後も各種手続き方法の紹介、申請書のダウンロード化など内容を充実し、わかりやすく、使いやすい便利なHPを目指してまいりますので、ご活用いただき、ご意見をお寄せください。

HPアドレス <http://www.pref.shizuoka.jp/kenhuku/kf-22/index.htm>



主なコンテンツ（内容）

- 「窓口のご案内」...保健・医療・福祉に関する相談・問合せ先など
- 「関係機関・団体」...管内の関係機関、社会福祉法人、医師会などの団体
- 「定例相談・教室等」...エイズ、C型肝炎の相談・検査、こころの健康相談、各種教室、犬猫引取など
- 「管内社会福祉施設一覧」...管内の児童福祉施設、老人福祉施設、障害者施設など
- 「管内医療施設一覧」...管内の病院、一般診療所、歯科診療所など
- 「健康福祉情報」...健康・福祉・医療・衛生にかかるタイムリーな話題
- 「センターだより湯けむり」...年4回発行のPDF版センターだより「湯けむり」
- 「管内概況（統計情報）」...管内の年齢別人口、世帯数、出生数、死亡数、婚姻・離婚件数など

「県政さわやかタウンミーティング」開催

熱海・伊東地区は全国でも有数の観光地です。また最近では社会福祉施設など高齢者の利用する施設が増加する傾向にあります。観光客や高齢者に対する感染症・食中毒の予防や食の安全・安心について、地域のみなさんはどのように考えているのでしょうか。ご意見、ご要望をいただき今後の行政施策に活かすため、平成17年11月、12月に熱海市、伊東市でタウンミーティングを開催しました。熱海健康福祉センター管内の消費者代表を始め、学校給食、社会福祉施設、病院、旅館、飲食店の関係者など多数の方が参加し、意見交換が行われました。

<問合せ> 衛生環境課 0557-82-9116



出席者との意見交換

国立感染症研究所
西尾治室長による基調講演

テーマ

「食の安全・安心について」

平成17年11月15日
起雲閣（熱海市）

県担当職員より県内における食の安全・安心に対する取組みを説明後、県内で流通している食品の安全性について意見交換。出席者からは、遺伝子組換え食品や鳥インフルエンザ、農畜産物の安全性を心配する声があり、対応について説明しました。



テーマ

「冬季における感染症・食中毒の効果的な対策について」

平成17年12月6日
ひぐらし会館（伊東市）

基調講演「ノロウイルス感染症と食中毒予防について」で、ノロウイルスの概要、食中毒の発生状況、予防対策などを紹介。出席者は今後の感染症・食中毒の対策に役立てようと熱心に耳を傾けました。感染時の症状や対処方法などについても活発な質疑が交わされました。

遺伝子組換え食品の安全性や表示の信頼性は大丈夫？

一般的に市場に出ている遺伝子組換え食品は、審査により安全性が確認されたものです。「遺伝子組換え食品である」ことを表示することも義務付けられています。

さらに、県は食品取扱い施設の立入調査や流通食品の抜き打ち検査を行い、遺伝子組換え食品が適正に流通しているかどうか監視しています。

遺伝子組換え食品とは？

遺伝子組換え技術により品種改良された農作物（大豆、とうもろこし、ばれいしょ、なたね、わた、てんさい）とその加工食品を指します。栄養的に優れた食品や害虫に強い農作物などが開発されています。

鶏肉への鳥インフルエンザの影響は心配ないの？

インフルエンザは空気感染により流行するため、養鶏場で働いている人や鳥の飼育・処分を行う人は感染の危険性があります。通常鶏肉を食べても感染することはありませんが、中心部の温度75℃、1分の加熱でウイルスを死滅できます。

ノロウイルスにはどう対応をしたらよいのですか？

ノロウイルスは冬季に流行する感染性胃腸炎の原因ウイルスです。感染後24～48時間の潜伏時間の後に吐気（はきけ）、おう吐、下痢、腹痛等の症状を示します。

この時期、おう吐・下痢をした人がいたら、ノロウイルスに感染している可能性があります。感染者の吐物や糞便、汚れた衣服、床面などにはウイルスがいます。処置が悪いと、さらに感染者を増やすことになります。



ノロウイルスの主な感染経路

- カキなど二枚貝の生食
- 感染者が調理した食品経由
- ヒト同士の接触による直接感染

予防のポイント

- 食品の十分な加熱（中心温度85℃、1分以上）
- 二枚貝を生で食べる場合は特に注意！新鮮で「生食用」表示のあるものを選ぶ。
- 手洗いは石けんを十分泡立て、流水でしっかり洗い流す。
- 消毒には効果のある次亜塩素酸ナトリウムなどを利用する。

正しい対処方法

- 汚物の処理をする人は必ず手袋をする。
- ノロウイルスの消毒方法
- 煮沸消毒
- 0.025～0.1%（250～1000ppm）の次亜塩素酸ナトリウム（台所用漂白剤などでも可）に浸す。
- 吐物、糞便で汚れた床面は、次亜塩素酸ナトリウムをしみ込ませた雑巾やペーパータオルでしばらく浸して消毒する。
- 汚れた雑巾やペーパータオル、衣服はすぐにビニール袋に入れ、ウイルスが飛び散らないようにして、燃えるゴミに出す。衣服をその後も使う場合は、消毒後に他の洗濯物と分けて洗う。
- 症状が改善しても、感染者からは数週間はウイルスが排泄されているため、二次感染が起きないように注意する。

しずおか食の安全推進委員会のホームページ：

<http://www.pref.shizuoka.jp/kenfuku/kf-05/syokunoiinkai/toppage/anzeniinkai.htm>

「地域・職域健康フォーラム 21 in 伊東」開催！

伊東市は観光地として、とても華やかなイメージがあり、「健康回復都市」の宣言もしていますが、市民の平均寿命は男女とも県内でワースト3に入っています。市民の健康水準は高いとは言えません。

この問題に地域でどのように取組んでいけばよいのか、11月9日にひぐらし会館(伊東市)で地域の健康づくりを考えるフォーラムを開催。多くの参加者と伊東市の課題を探りました。

この様子は「公衆衛生情報」2月号に掲載されます。



第1部 基調講演

「住民参画の健康づくりについて」

講師 中村好一氏(自治医科大学公衆衛生学教授)

- ・結核は過去の病気と思っている人もいるが、年間2千人以上も死亡する恐い病気。感染経路が分かるエイズよりも危険があることを認識してほしい。
- ・病気対策は、早期発見・早期治療よりもいかに病気になるかないかの1次予防が重要になっている。
- ・テレビで流れる健康情報を鵜呑みにして、皆が同じ行動をとってしまう。正しい情報の取捨選択が出来ていない。
- ・行政主導の時代はもう終わり。住民が主体的に健康づくりを進め、行政はその支援をするくらいが好ましい。

第2部 シンポジウム「地域で支えるみんなの健康」

- 住民の健康づくり実践をすすめるために -

伊東市の健康課題等について、4人のパネリストによる意見発表

大川真澄氏(伊東市医師会長)

市民のがん検診や基本健診の受診率低下を危惧
稲葉安光氏(伊東温泉旅館ホテル協同組合理事長)
組合で進めている温泉入浴勉強会や「かかりつけ湯」等の取組みを紹介

山本弘子氏(伊東市保健委員連絡協議会理事)

基本健診・がん検診のPRなど保健委員の活動紹介

佐山和則氏(箱根強羅観光協会理事)

温泉療法や運動療法をもとに開発した強羅地区のユニークな温泉療養ネットワーク事業の説明

薬物乱用防止ポスター・標語コンテスト入賞作品決定！

県・県教育委員会主催の薬物乱用防止ポスター・標語コンテストに当所管内の中学校及び高等学校から応募のあった38点の作品の中から、薬物乱用防止を訴えかける特に優秀な作品に、熱海保健所長賞及び熱海地区薬物乱用防止指導員協議会長賞を授与し、展示会を開催しました。

熱海保健所長賞

ポスター...伊東市立宇佐美中3年 池田恵梨子さん

伊東城ヶ崎高校1年 應戸美咲さん

標語.....伊東商業高校3年 石川丈司さん

熱海地区薬物乱用防止指導員協議会長賞

ポスター...伊東市立宇佐美中3年 稲葉彩佳さん

伊東城ヶ崎高校1年 森川陽子さん

標語.....伊東商業高校2年 加藤奈津樹さん

<お問合せ先> 静岡県熱海健康福祉センター・熱海保健所

〒413-0016 熱海市水口町13-15 電話0557-82-9106 FAX 0557-82-9131

ホームページ <http://www.pref.shizuoka.jp/kenhuku/kf-22/index.htm>